



豊玉二中だより

令和8年度 第4号
発行日7月1日(水)
練馬区立豊玉第二中学校
校長 大野 雄一郎

自分らしさを大切にする夏に

校長 大野雄一郎

梅雨真っ最中でジメジメした日が続きますが、いかがお過ごしですか。保護者の皆様におかれましては、運動会に続いて三者面談へのご協力、感謝申し上げます。お伝えした内容については、頑張った点も現時点での課題もご家庭で話題にさせていただけると幸いです。

さて、今月は、皆さん自身の「短所」との向き合い方について考えてみたいと思います。突然ですが、実は、私には大きな短所があります。それは「整理整頓が苦手」なことです。先日も、学校に練馬区の教育委員会の大切なお客様をお迎えする（6月10日のことです。2年C組ありがとう）直前、校長室が散らかっていることに気づきました。あわてて書類や物を引き出しに押し込み（新しい校長室で収納は豊富です）、何とか形だけを整えて冷や汗をかきながらお迎えするという、恥ずかしい経験をしました。大人になっても、苦手なことや短所はなかなか改善しないものです（他に時間ギリギリも仕事以外ではあります）。

短所とどう付き合うか皆さんも、「自分にはこんなマイナスなところがある」と悩むことがあるかもしれません。しかし、短所を無理にゼロにする必要はありませんし、私のように大人になってもゼロにできないかもしれません。大切なのは、次の2点で付き合って、対処していくことです。

認める：自分の苦手な部分を否定せず「これが自分だ」と受け入れる。また、周到的な準備をする（例えば、人前での発表が苦手な人は事前に原稿を考える）

工夫する：周りの人に手助けを頼んだり、「アラームをかける」「やることリストを作る」などの工夫で乗り越えたりする。

完璧な人間はいません。自分の弱さを知ることは、他人の弱さを受け止める優しさにもつながります。別の見方で、短所を「長所」に変える発想の転換をすることで、短所を良い面として捉えることもできます。

*消極的（自分からいけない）→周りをよく見て、じっくり考えて動く人

*飽きっぽい→好奇心が旺盛で、行動力がある

*人見知り・内気→相手の気持ちを深く考えられる、慎重派

*頑固・人の意見を聞かない→自分の意志を強くもっている

自分の弱いところが見つかったら、「これはどんな長所に言い換えられるだろう？」と探してみてください。視点を変えるだけで、それは皆さんの素晴らしい個性になります。

最後にまもなく夏季休業を迎えます。この夏休みは、自分の短所を気にするのではなく、違った角度から見つめ直すチャンスにしてください。保護者の皆様も、ぜひお子様の「短所」を認めながら、「輝く長所」を見つけ、声をかけていただけますと幸いです。